

5: 慢性骨髄性白血病(CML)【小児】

1. WG メンバーリスト

氏名	所属	診療科
責任者 嶋田 博之	慶應義塾大学病院	小児科
谷澤 昭彦	福井大学医学部附属病院	小児科
村松 秀城	名古屋大学医学部附属病院	小児科
安井 昌博	大阪府立母子保健総合医療センター	血液・腫瘍科
石田 也寸志	愛媛県立中央病院	小児科

2. 承認研究の進捗状況(2014年1月-12月 ※JSHCT2015を含む)

5-2	「慢性骨髄性白血病に対する同種造血幹細胞移植の成績 (CML 成人共同研究)」 PI: 村松秀城
学会発表: 済(WG 研究業績一覧参照)	
論文業績:	
5-3	「小児・AYA 世代の慢性骨髄性白血病(CML)に対する骨髄非破壊的移植(RIST)の成績」 PI: 嶋田博之
学会発表: 済(WG 研究業績一覧参照)	
論文業績:	
5-4	「同種造血幹細胞移植後に再発した慢性骨髄性白血病(CML)に対する治療戦略の検討」 PI: 嶋田博之
学会発表:	
論文業績:	

3. 会議開催記録(2014年1月-12月)

日時	場所	会議内容
2014/1/12	国立がん研究センター	成人 WG と小児 WG の共同研究について
2014/3/8	沖縄コンベンションセンター	成人 WG と小児 WG の共同研究について
2014/7/5	名古屋第一赤十字病院	成人 WG と小児 WG の共同研究について

4. メーリングリストによる意見交換 (メーリングリスト開設から 2014年12月末時点まで)

(238)回

5. WG の今後の活動方針・抱負など

研究課題「小児・AYA 世代の慢性骨髄性白血病(CML)に対する骨髄非破壊的移植(RIST)の成績」では、若年 CML に対する RIST の成績と予後因子について解析、論文発表を行う。研究課題「同種造血幹細胞移植後に再発した慢性骨髄性白血病(CML)に対する治療戦略の検討」では移植後再発後の治療内容を評価し、再発に対する治療戦略を検討して、学会・論文発表を行う。成人 WG と合同で新たな研究課題に取り組む。

6: 慢性骨髄性白血病(CML)【成人】

1. WG メンバーリスト

氏名	所属	診療科
責任者 大橋 一輝	がん・感染症センター 都立駒込病院	血液内科
川瀬 孝和	広島大学病院	血液内科
長村 登紀子	東京大学医科学研究所附属病院	セルプロセッシング・輸血部
綿本 浩一	愛知県厚生農業協同組合連合会 江南厚生病院	血液・腫瘍内科
東條 有伸	東京大学医科学研究所附属病院	造血細胞移植チーム
初見 菜穂子	群馬県済生会前橋病院	血液内科
近藤 健	北海道大学病院	血液内科

2. 承認研究の進捗状況(2014年1月-12月 ※JSHCT2015を含む)

6-1	「慢性骨髄性白血病(CML)の同種移植の幹細胞別の移植成績の比較」 PI:大橋一輝
<p>学会発表: 済(WG 研究業績一覧参照)</p> <p>論文業績: Ohashi K, Nagamura-Inoue T, Nagamura F, Tojo A, Miyamura K, Mori T, Kurokawa M, Taniguchi S, Ishikawa J, Morishima Y, Atsuta Y, Sakamaki H.</p> <p>Effect of graft sources on allogeneic hematopoietic stem cell transplantation outcome in adults with chronic myeloid leukemia in the era of tyrosine kinase inhibitors: a Japanese Society of Hematopoietic Cell Transplantation retrospective analysis.</p> <p><i>Int J Hematol.</i> 2014;100(3):296-306.</p>	
6-3	「慢性骨髄性白血病(CML)の同種移植の移植成績と移植後 TKI 投与についての解析」 PI:近藤健
<p>学会発表:</p> <p>論文業績:</p>	

3. 会議開催記録(2014年1月-12月)

日時	場所	会議内容
1/12	国立がん研究センター	成人 WG と小児 WG の共同研究について
3/8	沖縄コンベンションセンター	成人 WG と小児 WG の共同研究について
7/5	名古屋第一赤十字病院	成人 WG と小児 WG の共同研究について

4. メーリングリストによる意見交換 (メーリングリスト開設から 2014年12月末時点まで) (238)回

5. WG の今後の活動方針・抱負など

<p>小児の課題</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. CML に対する同種造血幹細胞移植の成績 (CML 成人共同研究) 2. 小児・AYA 世代の CML に対する骨髄非破壊的移植(RIST)の成績 3. 同種造血幹細胞移植後に再発した CML に対する治療戦略の検討 および成人の課題 4. CML の同種移植の移植成績と移植後 TKI 投与についての解析 について論文文化を進めます
--

7: 骨髄異形成症候群(MDS)【小児】

1. WGメンバーリスト

氏名	所属	診療科
責任者 渡邊 健一郎	地方独立行政法人 静岡県立病院機構 静岡県立こども病院	血液腫瘍科
加藤 元博	東京大学医学部附属病院	無菌治療部(小児科)
工藤 寿子	藤田保健衛生大学病院	小児科
小嶋 靖子	東邦大学医療センター大森病院	小児科学講座
土居崎 小夜子	名古屋大学医学部附属病院	小児科
長谷川 大一郎	兵庫県立こども病院	小児がん医療センター血液腫瘍内科
三井 哲夫	山形大学医学部附属病院	小児科
矢部 みはる	東海大学医学部附属病院	小児科・細胞移植科
吉田 奈央	名古屋第一赤十字病院	小児医療センター血液腫瘍科

2. 承認研究の進捗状況(2014年1月-12月 ※JSHCT2015を含む)

7-1	「治療関連による小児および若年者の骨髄異形成症候群(MDS)/急性骨髄性白血病(AML)症例に対する造血幹細胞移植治療の検討」 PI:小嶋靖子	
学会発表: 済(WG 研究業績一覧参照)		論文業績:
7-2	「若年性骨髄単球性白血病に対する同種造血細胞移植の成績」 PI: 吉田奈央	
学会発表: 吉田奈央他 第56回日本小児血液・がん学会(2014年11月30日) 岡山コンベンションセンター		論文業績:
7-4	「小児骨髄異形成症候群に対する同種造血幹細胞移植において G-CSF の予後に与える影響」 PI:長谷川大一郎	
学会発表: 済(WG 研究業績一覧参照)		論文業績:
7-5	「小児一次性骨髄異形成症候群に対する至適移植法の開発に関する研究」 PI:長谷川大一郎	
学会発表: 済(WG 研究業績一覧参照)		論文業績:
7-6	「小児骨髄異形成症候群に対する再移植」 PI:加藤元博	
学会発表: 済(WG 研究業績一覧参照)		論文業績: Kato M, Yoshida N, Inagaki J, Maeba H, Kudo K, Cho Y, Kurosawa H, Okimoto Y, Tauchi H, Yabe H, Sawada A, Kato K, Atsuta Y, Watanabe K. Salvage allogeneic stem cell transplantation in patients with pediatric myelodysplastic syndrome and myeloproliferative neoplasms. <i>Pediatr Blood Cancer</i> . 2014;61(10):1860-6.

3. 会議開催記録(2014年1月-12月)

日時	場所	会議内容
2014年3月7日	沖縄コンベンションセンター	承認研究の進捗状況、学会発表、論文化の予定を確認した。新規研究テーマについて検討した。

4. メーリングリストによる意見交換（メーリングリスト開設から 2014 年 12 月末時点まで）

（ 422 ）回

5. WG の今後の活動方針・抱負など

学会発表済みの研究の論文化を進め、新規研究テーマを提案する。

8: 骨髄異形成症候群(MDS)【成人】

1. WG メンバーリスト

氏名	所属	診療科
責任者 宮崎 泰司	長崎大学病院	血液内科(原研内科)
石川 隆之	神戸市立医療センター中央市民病院	血液内科
岡本 真一郎	慶應義塾大学病院	血液内科
小澤 幸泰	名古屋第一赤十字病院	血液内科
垣花 和彦	がん・感染症センター 都立駒込病院	血液内科
加藤 淳	慶應義塾大学病院	血液内科
河野 彰夫	愛知県厚生農業協同組合連合会 江南厚生病院	血液・腫瘍内科
高木 伸介	国家公務員共済組合連合会 虎の門病院	血液内科
高見 昭良	愛知医科大学 内科学講座	血液内科
田中 正嗣	公立大学法人横浜市立大学附属市民総合医療センター	血液内科
玉置 広哉	兵庫医科大学病院	血液内科
廣川 誠	秋田大学大学院医学系研究科	総合診療・検査診断学
増岡 和宏	国家公務員共済組合連合会 三宿病院	血液内科
増子 正義	新潟大学医歯学総合病院	高密度無菌治療部・血液内科
芦田 隆司	近畿大学医学部附属病院	血液・膠原病内科
臼杵 憲祐	NTT 東日本関東病院	血液内科
衛藤 徹也	国家公務員共済組合連合会 浜の町病院	血液内科
太田 秀一	札幌北楡病院	内科
大西 康	東北大学病院	血液免疫科
中尾 眞二	金沢大学医薬保健研究域医学系	細胞移植学
池田 宇次	静岡県立静岡がんセンター	血液・幹細胞移植科
石井 一慶	関西医科大学附属滝井病院	血液腫瘍内科
石山 謙	金沢大学附属病院	血液内科
糸永 英弘	佐世保市立総合病院	血液内科
小林 寿美子	日本大学医学部内科学系血液膠原病内科学分野	血液膠原病内科
町田 真一郎	東海大学医学部付属病院	血液腫瘍内科
青木 一成	京都大学大学院医学研究科	血液・腫瘍内科学
青木 淳	(独)神奈川県立病院機構 神奈川県立がんセンター	血液内科
康 秀男	大阪市立大学大学院医学研究科	血液腫瘍制御学
鈴木 達也	国立がん研究センター中央病院	血液腫瘍科
小沼 貴晶	東京大学医科学研究所附属病院	造血細胞移植チーム
土岐 典子	がん・感染症センター 都立駒込病院	血液内科
宮尾 康太郎	名古屋大学大学院医学系研究科	血液・腫瘍内科
森下 喬允	名古屋大学大学院医学系研究科病態内科学講座	血液腫瘍内科
吉永 健太郎	東京女子医科大学病院	血液内科
杉盛 千春	石川県立中央病院	血液内科
立花 崇孝	横浜市立大学附属病院	リウマチ・血液・感染症内科

米澤 昭仁	小倉記念病院	血液内科
竹田 淳恵	京都大学医学部附属病院	血液・腫瘍内科

2. 承認研究の進捗状況(2014年1月-12月 ※JSHCT2015を含む)

8-1	「同種造血幹細胞移植が行われた50歳以上のMDS患者における移植成績の検討」PI:青木一成	
学会発表:済(WG研究業績一覧参照)		
論文業績:Aoki K, Ishikawa T, Ishiyama K, Aoki J, Itonaga H, Fukuda T, Kakihana K, Uchida N, Ueda Y, Eto T, Mori T, Kondo T, Iwato K, Morishima Y, Tanaka J, Atsuta Y, Miyazaki Y; Adult Myelodysplastic Syndromes Working Group of the Japan Society for Hematopoietic Cell Transplantation (JSHCT). Allogeneic haematopoietic cell transplantation with reduced intensity conditioning for elderly patients with advanced myelodysplastic syndromes: a nationwide study. <i>Br J Haematol</i> 2015;168(3):463-466.		
8-3	「成人MDSに対する臍帯血移植」PI:石山謙	
学会発表:済(WG研究業績一覧参照) 論文業績:		
8-4	「慢性骨髄単球性白血病に対する同種造血幹細胞移植の有効性の検討」PI:系永英弘	
学会発表:済(WG研究業績一覧参照) 論文業績:		
8-5	「低リスク骨髄異形成症候群に対する造血幹細胞移植」PI:青木淳	
学会発表: 論文業績:		
8-6	「治療関連骨髄性腫瘍(therapy-related myeloid neoplasms;therapy-related AML/MDS)の移植成績」PI:臼杵憲祐	
学会発表: 論文業績:		
8-7	「der(1;7)(q10;p10)染色体異常が骨髄異形成症候群に対する同種造血幹細胞移植の成績に与える影響の検討」PI:系永英弘	
学会発表: 論文業績:		
8-8	「骨髄異形成症候群に対する同種移植におけるドナータイプと予後の関連」PI:青木一成	
学会発表: 論文業績:		
8-9	「成人骨髄異形成症候群に対する臍帯血移植における移植前処置別の成績:G-CSF 併用前処置の安全性および有効性の検証」PI:小沼貴晶	
学会発表: 論文業績:		

3. 会議開催記録(2014年1月-12月)

日時	場所	会議内容
2014年3月7日	沖縄コンベンションセンター	(1)活動の報告 (2)プロジェクトの進捗状況 (3)新規プロジェクトの提案と調整

4. メーリングリストによる意見交換 (メーリングリスト開設から 2014年12月末時点まで)

(308)回

5. WGの今後の活動方針・抱負など

現在申請、承認されている研究の進捗をはかるとともに、次期委員長を決定して新たな体制のもとで、さらなる活動の活発化を図る。特に、研究の論文化についてPIと相談しつつ進める。

9: 悪性リンパ腫(ML)【小児】

1. WG メンバーリスト

氏名	所属	診療科
責任者 小林 良二	札幌北楡病院	小児科
岩崎 史記	神奈川県立こども医療センター	血液・再生医療科
鈴宮 淳司	島根大学医学部附属病院	腫瘍・血液内科
藤田 直人	広島赤十字・原爆病院	小児科
三井 哲夫	山形大学医学部附属病院	小児科
深野 玲司	独立行政法人国立病院機構 九州がんセンター	小児科
大隅 朋生	国立成育医療研究センター	小児がんセンター 血液腫瘍科
古賀 友紀	九州大学病院	小児科

2. 承認研究の進捗状況(2014年1月-12月 ※JSHCT2015を含む)

9-2	「小児における稀なリンパ腫の造血幹細胞移植症例の検討」 PI:小林良二
学会発表:	済(WG 研究業績一覧参照)
論文業績:	済(WG 研究業績一覧参照)
9-4	「小児未分化大細胞型リンパ腫に対する造血細胞移植成績」 PI:深野玲司
学会発表:	済(WG 研究業績一覧参照)
論文業績:	Fukano R, Mori T, Kobayashi R, Mitsui T, Fujita N, Iwasaki F, Suzumiya J, Chin M, Goto H, Takahashi Y, Hara J, Park Y, Inoue M, Koga Y, Inagaki J, Sakamaki H, Adachi S, Kawa K, Kato K, Suzuki R. Haematopoietic stem cell transplantation for relapsed or refractory anaplastic large cell lymphoma: a study of children and adolescents in Japan. <i>Br J Hematol.</i> (in press).
9-5	「小児リンパ芽球性リンパ腫に対する造血細胞移植成績」 PI:三井哲夫
学会発表:	
論文業績:	
9-6	「小児成熟B細胞性腫瘍に対する造血細胞移植成績」 PI:藤田直人
学会発表:	済(WG 研究業績一覧参照)
論文業績:	

3. 会議開催記録(2014年1月-12月)

日時	場所	会議内容
2014.3.7	沖縄コンベンションセンター	今後の研究の進め方についておよび新規の研究について

4. メーリングリストによる意見交換 (メーリングリスト開設から 2014年12月末時点まで)

(130)回

5. WG の今後の活動方針・抱負など

小児悪性リンパ腫は対象症例が少ないにもかかわらず、論文2編、学会発表3編がおこなわれている。今後も研究を増やすことを検討しており、あらたに成人リンパ腫 WG との共同研究も予定している。

10: 悪性リンパ腫(ML)【成人】

1. WG メンバーリスト

氏名	所属	診療科
責任者 鈴木 淳司	島根大学医学部附属病院	腫瘍・血液内科
吾郷 浩厚	島根県立中央病院	血液腫瘍科
伊豆津 宏二	国家公務員共済組合連合会 虎の門病院	血液内科
小川 啓恭	兵庫医科大学病院	血液内科
尾関 和貴	愛知県厚生農業協同組合連合会 江南厚生病院	血液・腫瘍内科
賀古 真一	自治医科大学附属さいたま医療センター	血液科
加藤 光次	九州大学病院	血液腫瘍内科
加藤 春美	愛知県がんセンター中央病院	血液・細胞療法部
金 成元	国立がん研究センター 中央病院	造血幹細胞移植科
近藤 英生	岡山大学病院	総合内科
酒井 リカ	(独)神奈川県立病院機構 神奈川県立がんセンター	腫瘍内科
鈴木 律朗	島根大学医学部附属病院	腫瘍・血液内科
田地 浩史	愛知県がんセンター中央病院	血液・細胞療法部
田野崎 隆二	国立がん研究センター 中央病院	輸血療法科
名和 由一郎	愛媛県立中央病院がん治療センター	血液内科
水田 秀一	藤田保健衛生大学病院	血液内科・化学療法科
森島 聡子	藤田保健衛生大学病院	血液内科・化学療法科
森 毅彦	慶應義塾大学病院	血液内科
矢野 真吾	東京慈恵会医科大学附属病院	腫瘍・血液内科
横山 寿行	独立行政法人国立病院機構 仙台医療センター	血液内科
石田 文宏	信州大学医学部	保健学科 病因・病態検査学
朝倉 義崇	日本赤十字社 沖縄赤十字病院	血液内科
池田 宇次	静岡県立静岡がんセンター	血液・幹細胞移植科
坂本 佳奈	自治医科大学附属さいたま医療センター	血液科
鈴木 達也	国立がん研究センター 中央病院	血液腫瘍科
多田 耕平	国立がん研究センター 中央病院	血液腫瘍科・造血幹細胞移植科
千原 大	MD Anderson Cancer Center	Department of Lymphoma and Myeloma
青木 一成	京都大学大学院医学研究科	血液・腫瘍内科学
今田 和典	小倉記念病院	血液内科
高橋 勉	島根大学医学部附属病院	腫瘍・血液内科
三橋 健次郎	東京女子医科大学病院	血液内科
吉田 功	独立行政法人国立病院機構 四国がんセンター	血液腫瘍内科
青木 智広	名古屋大学大学院医学系研究科 分子総合医学専攻 病態内科学講座	血液・腫瘍内科学
神山 祐太郎	東京慈恵会医科大学附属病院	造血細胞治療センター

白鳥 聡一	市立函館病院	血液内科
山崎 聡	独立行政法人国立病院機構 九州医療センター	血液内科

2. 承認研究の進捗状況(2014年1月-12月 ※JSHCT2015を含む)

10-1	「濾胞性リンパ腫の造血幹細胞移植の後方視的研究」PI:伊豆津宏二
学会発表:	済(WG研究業績一覧参照) 論文業績:
10-2	「悪性リンパ腫自家移植後再発に対する同種移植の有効性の検討 — 一元化データを用いた解析 —」 PI:吾郷浩厚
学会発表:	済(WG研究業績一覧参照) 論文業績:
10-3	「節外性NK/T細胞リンパ腫、鼻型(ENKL)の移植成績」PI:鈴木律朗
学会発表:	済(WG研究業績一覧参照) 論文業績:
10-4	「リンパ腫の組織型別・病期別移植成績」PI:伊豆津宏二
学会発表:	済(WG研究業績一覧参照) 論文業績:
10-5	「ホジキンリンパ腫に対する造血幹細胞移植の後方視的検討」PI:賀古真一
学会発表:	済(WG研究業績一覧参照)
論文業績:	Kako S, Izutsu K, Kato K, Kim SW, Mori T, Fukuda T, Kobayashi N, Taji H, Hashimoto H, Kondo T, Sakamaki H, Morishima Y, Kato K, Suzuki R, Suzumiya J; Adult Lymphoma Working Group of the Japanese Society for Hematopoietic Cell Transplantation. The role of hematopoietic stem cell transplantation for relapsed and refractory Hodgkin lymphoma. <i>Am J Hematol.</i> 2015;90(2):132-8.
10-6	「移植前B型肝炎、C型肝炎ウイルスの感染状態が悪性リンパ腫の移植成績および有害事象に及ぼす影響」 PI:加藤春美
学会発表:	済(WG研究業績一覧参照) 論文業績:
10-7	「高齢者びまん性大細胞型B細胞リンパ腫の造血幹細胞移植の後方視的研究」PI:千原大
学会発表:	済(WG研究業績一覧参照) 論文業績:済(WG研究業績一覧参照)
10-8	「縦隔(胸腺)大細胞型B細胞性リンパ腫に対する造血幹細胞移植の後方視的研究」PI:近藤英生
学会発表:	済(WG研究業績一覧参照) 論文業績:
10-9	「中枢神経原発リンパ腫に対する造血幹細胞移植の後方視的研究」PI:近藤英生
学会発表:	済(WG研究業績一覧参照) 論文業績:
10-10	「自家末梢血幹細胞移植前処置が悪性リンパ腫の移植後予後に及ぼす影響に関する研究」PI:水田秀一
学会発表:	論文業績:
10-11	「血管内大細胞型B細胞リンパ腫における造血幹細胞移植の意義についての検討」PI:加藤光次
学会発表:	Koji Kato, et al. 血管内大細胞型リンパ腫に対する超大量化学療法併用自家末梢血幹細胞移植の解析。 High-dose chemotherapy followed by auto-PBSCT for intravascular large B-cell lymphoma (IVLBCL) 第76回日本血液学会学術集会 2014年10月31日-11月2日、大阪
論文業績:	
10-12	「Blastic plasmacytoid dendritic cell neoplasm に対する造血幹細胞移植の後方視的検討」PI:青木智広
学会発表:	Aoki T, et al. Long-term survival with high-dose chemotherapy followed by autologous stem cell transplantation and allogeneic hematopoietic stem cell transplantation for patients with blastic plasmacytoid dendritic cell neoplasm: A retrospective registry study from the Japanese Society for Hematopoietic Stem Cell Transplantation. The 56th Annual Meeting of the American Society of Hematology (ASH), December 6-9, 2014, San Francisco, CA.
論文業績:	Aoki T, et al. Long-term survival following autologous and allogeneic stem cell transplantation for blastic

plasmacytoid dendritic cell neoplasm: A retrospective registry study from the Japan Society for Hematopoietic Cell Transplantation (投稿中)	
10-13	「成熟 T 細胞腫瘍に対する同種造血幹細胞移植における前処置強度と予後の関連」 PI: 青木一成
学会発表: Aoki K, et al. Reduced-intensity conditioning of allogeneic transplantation for nodal peripheral T-cell lymphomas. 第 76 回日本血液学会学術集会 2014 年 10 月 31 日-11 月 2 日、大阪 Aoki K, et al. Reduced-intensity conditioning of allogeneic transplantation for nodal peripheral T-cell lymphomas. The 56th Annual Meeting of the American Society of Hematology (ASH), December 6-9, 2014, San Francisco, CA.	
論文業績:	
10-14	「皮膚原発 T 細胞リンパ腫の造血幹細胞移植の後方視的研究」 PI: 森毅彦
学会発表: 論文業績:	

3. 会議開催記録(2014 年 1 月-12 月)

日時	場所	会議内容
平成 26 年 1 月 12 日	国立がん研究センター中央病院	14 名の出席のもと、新規メンバー紹介: 青木一成、青木智広、高橋勉、三橋健次郎、現在までの 11 の研究事項の発表ならびに論文化への報告、新規研究テーマとして、1) 成熟 T 細胞・NK 細胞腫瘍に対する同種造血幹細胞移植(京都大学 青木一成)、2) Blastic plasmacytoid dendritic cell neoplasm に対する造血幹細胞移植の後方視的検討(名古屋第二日赤病院 青木智広)、3) Double hit lymphoma, MYC 異常を B-cell lymphoma (島根大学 高橋勉)より提案があり、検討された。
平成 26 年 3 月 7 日	沖縄コンベンションセンター	11 名の出席のもと、1) 成熟 T 細胞腫瘍に対する同種造血幹細胞移植における前処置強度と予後との関連についての議論(京都大学 青木一成)、2) Blastic plasmacytoid dendritic cell neoplasm に対する造血幹細胞移植の後方視的検討の進捗状況に関する議論(名古屋第二日赤病院 青木智広)、新規プロトコルの案の提案、本学会で発表する WG 紹介のスライドの報告がされた。

4. メーリングリストによる意見交換 (メーリングリスト開設から 2014 年 12 月末時点まで)

(1463)回

5. WG の今後の活動方針・抱負など

2011 年 1 月 15 日に初めての会合を開き、その年の報告書に、“全国の移植医療に携わる方々の努力の結晶である、一元化データを有効に活用し、造血細胞移植医療の向上につながるような成果を出していきたいと思ひます。そのためには、本 WG の先生方の協力はもとより、小児の WG の先生方とも協力体制がとれますように努力をしてみたい。また若い先生方が活躍できるような環境をつくって、次世代を担う彼らに引き継ぎたいと考えています。とにかく明るく、楽しく、どんなことでも言えるような WG を作り、多くの成果を発表できるようにしたいと考えています。よろしくお願ひします。”と書きました。4 年間で一部メンバーが変わりましたが、若い先生方が増え現在 36 名です。14 もの研究がされており、また若い先生が幾つかの新しい研究計画をたてています。4 年前に思ったことが、みなさまのおかげで少しはできたことは嬉しい限りです。この場をお借りして心よりお礼を申し上げます。ただ残念なことは、時間が重なって会合にご参加いただけなかった先生が多数いらっしゃったこと、論文化が少ないこと、そして一度もお返事をいただけなかったメンバーの先生がいらっしゃることで。しかし、わたしより適任で、有能な先生に責任者を引き継がせていただきますので、メンバーの先生方がいまより積極的に参加され、リンパ腫に対する造血細胞移植の治療成績が向上すると信じておひます。

11: 再生不良性貧血【小児】

1. WG メンバーリスト

氏名	所属	診療科
責任者 小島 勢二	名古屋大学医学部附属病院	小児科
工藤 寿子	藤田保健衛生大学病院	小児科
小林 良二	札幌北榆病院	小児科
矢部 普正	東海大学医学部付属病院	小児科・細胞移植科
吉田 奈央	名古屋第一赤十字病院	小児医療センター血液腫瘍科
渡邊 健一郎	地方独立行政法人 静岡県立病院機構 静岡県立こども病院	血液腫瘍科
村松 秀城	名古屋大学医学部附属病院	小児科

2. 承認研究の進捗状況(2014年1月-12月 ※JSHCT2015を含む)

11-1	「フルダラビン導入が非血縁骨髄移植の成績に与える影響」 PI: 矢部普正
学会発表: 済(WG 研究業績一覧参照)	
論文業績:	
11-2	「小児再生不良性貧血における HLA 一致血縁者間骨髄移植と免疫抑制療法の比較」 PI: 吉田奈央
学会発表: 済(WG 研究業績一覧参照)	
論文業績: Yoshida N, Kobayashi R, Yabe H, Kosaka Y, Yagasaki H, Watanabe K, Kudo K, Morimoto A, Ohga S, Muramatsu H, Takahashi Y, Kato K, Suzuki R, Ohara A, Kojima S. First-line treatment for severe aplastic anemia in children: bone marrow transplantation from a matched family donor versus immunosuppressive therapy. <i>Haematologica</i> . 2014;99(12):1784-91.	
11-3	「小児再生不良性貧血におけるドナー選択—HLA 一致血縁ドナー、不一致血縁ドナー、非血縁ドナーの比較」 PI: 村松秀城
学会発表: 済(WG 研究業績一覧参照)	
論文業績:	
11-4	「小児の HLA 一致同胞間移植における治療成績」 PI: 菊地陽
学会発表: 済(WG 研究業績一覧参照)	
論文業績: 済(WG 研究業績一覧参照)	
11-7	「小児再生不良性貧血における骨髄移植後ドナータイプ造血不全の解析」 PI: 吉田奈央
学会発表: 済(WG 研究業績一覧参照)	
論文業績:	
11-8	「再生不良性貧血の移植前処置としての至適サイモグロブリン投与量の検討; 5mg/kg と 10mg/kg との比較を中心として」 PI: 矢部普正
学会発表:	
論文業績:	
11-9	「小児再生不良性貧血造血幹細胞移植症例における移植後血流感染症の合併リスクの検討」 PI: 小林良二

学会発表: 済 (WG 研究業績一覧参照)	
論文業績: Kobayashi R, Yabe H, Kikuchi A, Kudo K, Yoshida N, Watanabe K, Muramatsu H, Takahashi Y, Inoue M, Koh K, Inagaki J, Okamoto Y, Sakamaki H, Kawa K, Kato K, Suzuki R, Kojima S. Bloodstream infection after stem cell transplantation in children with idiopathic aplastic anemia. <i>Biol Blood Marrow Transplant.</i> 2014;20(8):1145-9.	
11-11	「小児 AA における 2 回目移植の成績」 PI: 工藤寿子
学会発表: 済 (WG 研究業績一覧参照)	
論文業績:	
11-12	「小児造血不全症における FLU+LPAM を前処置に用いた造血幹細胞移植法の検討」 PI: 吉田奈央
学会発表: 済 (WG 研究業績一覧参照)	
論文業績:	

3. 会議開催記録 (2014 年 1 月-12 月)

日時	場所	会議内容
2014 年 5 月 31 日	名古屋大学医学部附属病院	研究テーマの検討

4. メーリングリストによる意見交換 (メーリングリスト開設から 2014 年 12 月末時点まで)

(10) 回

5. WG の今後の活動方針・抱負など

小児再生不良性貧血に対する前治療法、とりわけドナータイプ造血不全を克服する前治療法を検討し、至適移植法を推奨した。

12: 再生不良性貧血【成人】

1. WG メンバーリスト

氏名	所属	診療科
責任者 山崎 宏人	金沢大学附属病院	輸血部
賀古 真一	自治医科大学附属さいたま医療センター	血液科
小林 武	がん・感染症センター 都立駒込病院	血液内科
鈴木 律朗	島根大学医学部附属病院	腫瘍・血液内科
廣川 誠	秋田大学大学院医学系研究科	総合診療・検査診断学
古川 達雄	長岡赤十字病院	血液内科
森 毅彦	慶應義塾大学病院	血液内科
山本 久史	国家公務員共済組合連合会 虎の門病院	血液内科
衛藤 徹也	国家公務員共済組合連合会 浜の町病院	血液内科
大西 康	東北大学病院	血液免疫科
竹中 克斗	九州大学病院	遺伝子細胞療法部
中尾 眞二	金沢大学医薬保健研究域医学系	細胞移植学
康 秀男	大阪市立大学大学院医学研究科	血液腫瘍制御学
杉盛 千春	石川県立中央病院	血液内科

2. 承認研究の進捗状況(2014年1月-12月 ※JSHCT2015を含む)

12-1	「再生不良性貧血に対する同種造血幹細胞移植における患者 HLA の影響」 PI: 山崎宏人
学会発表: 済(WG 研究業績一覧参照)	
論文業績:	
12-2	「再生不良性貧血に対する同種造血幹細胞移植の前処置の現状の評価」 PI: 森毅彦
学会発表: 森 毅彦 他, 19 th Congress, the European Hematology Association (2014年6月12日~15日), MiCo - Milano Congressi	
論文業績:	
12-3	「再生不良性貧血に対する2回目同種造血幹細胞移植の検討」 PI: 大西康
学会発表: 済(WG 研究業績一覧参照)	
論文業績: 投稿中	

3. 会議開催記録(2014年1月-12月)

日時	場所	会議内容
1月12日	国立がん研究センター	「成人再不貧の生着不全に対する2回目移植」に関する意見交換
7月5日	名古屋第一赤十字病院	「成人再不貧の生着不全に対する2回目移植」の論文化に関する検討

4. メーリングリストによる意見交換 (メーリングリスト開設から 2014年12月末時点まで)

(232)回

5. WG の今後の活動方針・抱負など

「成人再生不良性貧血の生着不全に対する2回目同種造血幹細胞移植」は現在投稿中である。

「再生不良性貧血に対する同種造血幹細胞移植の前処置の現状の評価」は、第19回EHAで発表した内容をもとに、現在、論文化を目指している。

これらの研究を進めていく過程で、TRUMPで取り扱った方がよい項目も浮かび上がってきた。WG内で検討した上で、提案していきたい。

来年度は新責任者のもと、新たなテーマにも取り組む予定である。

13: 成人 T 細胞白血病リンパ腫(ATL)

1. WG メンバーリスト

氏名	所属	診療科
責任者 宇都宮 興	公益財団法人慈愛会 今村病院分院	血液内科
赤塚 美樹	藤田保健衛生大学病院	血液内科・化学療法科
石田 高司	名古屋市立大学病院	血液・腫瘍内科
加藤 光次	九州大学病院	血液腫瘍内科
鈴宮 淳司	島根大学医学部附属病院	腫瘍・血液内科
高塚 祥芝	公益財団法人慈愛会 今村病院分院	血液内科
田野崎 隆二	国立がん研究センター 中央病院	輸血療法科
東梅 友美	ミシガン大学	
中瀬 浩一	愛媛県立中央病院がん治療センター	血液内科
名和 由一郎	愛媛県立中央病院がん治療センター	血液内科
菱澤 方勝	京都大学医学部附属病院	血液・腫瘍内科
福島 卓也	琉球大学医学部保健学科	病態検査学講座血液免疫検査学分野
増田 昌人	琉球大学医学部附属病院	がんセンター
和氣 敦	国家公務員共済組合連合会 虎の門病院分院	血液内科
鵜池 直邦	独立行政法人国立病院機構 九州がんセンター	血液内科
崔 日承	独立行政法人国立病院機構 九州がんセンター	血液内科
朝倉 義崇	日本赤十字社 沖縄赤十字病院	血液内科
中野 伸亮	公益財団法人慈愛会 今村病院分院	血液内科
藤原 弘	愛媛大学医学部附属病院	第一内科
町田 真一郎	東海大学医学部附属病院	血液腫瘍内科
澤山 靖	長崎大学病院	血液内科(原研内科)
多田 耕平	国立がん研究センター 中央病院	血液腫瘍科・造血幹細胞移植科
井上 明威	国立がん研究センター 中央病院	造血幹細胞移植科
今田 和典	小倉記念病院	血液内科
吉田 功	独立行政法人国立病院機構 四国がんセンター	血液腫瘍内科
吉満 誠	鹿児島大学病院	血液・膠原病内科
藤 重夫	国立がん研究センター 中央病院	造血幹細胞移植科

2. 承認研究の進捗状況(2014年1月-12月 ※JSHCT2015を含む)

13-1	「ATL患者に対する同種骨髄破壊的移植と非破壊的移植の比較検討」 PI: 石田高司
	学会発表: 済(WG研究業績一覧参照) 論文業績: 済(WG研究業績一覧参照)
13-2	「成人 T 細胞性白血病/リンパ腫に対する臍帯血移植の後方視的検討」 PI: 加藤光次
	学会発表: 済(WG研究業績一覧参照) 論文業績: Kato K, Choi I, Wake A, Uike N, Taniguchi S, Moriuchi Y, Miyazaki Y, Nakamae H, Oku E, Murata M, Eto T, Akashi K, Sakamaki H, Kato K, Suzuki R, Yamanaka T, Utsunomiya A.

Treatment of patients with adult T cell leukemia/lymphoma with cord blood transplantation: a Japanese nationwide retrospective survey. <i>Biol Blood Marrow Transplant.</i> 2014;20(12):1968-74.	
13-3	「ATL 患者に対する同種骨髄破壊的移植と非破壊的移植の比較検討、GVHD の意義について」 PI: 石田高司
学会発表: 論文業績: 済 (WG 研究業績一覧参照)	
13-4	「成人 T 細胞性白血病/リンパ腫の同種移植後再発に対する治療およびその予後に関する検討」 PI: 加藤光次
学会発表: 済 (WG 研究業績一覧参照) 論文業績:	
13-5	「ATL に対する同種造血幹細胞移植における各種リスクスコアの有用性の検討」 PI: 吉満誠
学会発表: Yoshimitsu M et al. 2015 BMT Tandem Meetings (Feb 11-15, 2015), San Diego, USA Yoshimitsu M et al. 第 37 回日本造血細胞移植学会総会 (平成 27 年 3 月 5 日-7 日)、神戸国際会議場	
論文業績:	
13-6	「ATL に対する血縁者間同種移植における移植タイミングと移植成績に関する検討」 PI: 藤重夫
学会発表: 論文業績:	
13-8	「再発期 ATL に対する同種移植の成績に関する検討」 PI: 藤原弘
学会発表: 論文業績:	

3. 会議開催記録 (2014 年 1 月-12 月)

日時	場所	会議内容
2014/1/12	国立がん研究センター 中央病院 (第 9 回)	14 名の出席のもと、(1) 移植後再発に対する治療およびその予後に関する検討、(2) 染色体異常と移植後生存期間の検討、(3) 移植における各種リスクスコアの有用性の検討、等についての議論を行った。
2014/8/23	東京大学医科学研究所 (第 10 回)	出席者 11 名、オブザーバー参加 2 名。(1) 移植における各種リスクスコアの有用性の検討、(2) 染色体異常が移植後の生存に及ぼす影響、(3) 移植タイミングに関する後方視的研究の提案、等について議論を行った。

4. メーリングリストによる意見交換 (メーリングリスト開設から 2014 年 12 月末時点まで) (1534) 回

5. WG の今後の活動方針・抱負など

4 年間で 10 回の ATL-WG 打ち合わせ会を実施した。論文発表は 3 編に留まったが、現在 4 研究テーマが論文投稿準備中である。ATL は症例数が少なく、大きなデータベースでの解析は限られている。しかしながら、100 例以下の研究者主導の研究テーマや二次調査を組み込んだテーマも多く残されており、今後取り上げていきたい。次年度から新しい WG 責任者に交代するので、さらなる ATL-WG の活性化に期待したい。

14: 多発性骨髄腫

1. WGメンバーリスト

氏名	所属	診療科
責任者 角南 一貴	独立行政法人国立病院機構 岡山医療センター	血液内科
赤塚 美樹	藤田保健衛生大学病院	血液内科・化学療法科
伊豆津 宏二	国家公務員共済組合連合会 虎の門病院	血液内科
大橋 一輝	がん・感染症センター 都立駒込病院	血液内科
岡本 真一郎	慶應義塾大学病院	血液内科
谷口 享子	兵庫医科大学病院	血液内科
辻 正徳	国家公務員共済組合連合会 虎の門病院	血液内科
寺倉 精太郎	名古屋大学医学部附属病院	血液内科
前田 猛	公益財団法人 大原記念倉敷中央医療機構 倉敷中央病院	血液内科
宮本 敏浩	九州大学病院	血液腫瘍内科
池田 宇次	静岡県立静岡がんセンター	血液・幹細胞移植科
石井 一慶	関西医科大学附属滝井病院	血液腫瘍内科
高松 博幸	金沢大学医薬保健研究域医学系細胞移植学	血液内科
藤原 弘	愛媛大学医学部附属病院	第一内科
鈴木 達也	国立がん研究センター中央病院	血液腫瘍科
神田 善伸	自治医科大学附属さいたま医療センター	血液科
高橋 勉	島根大学医学部附属病院	腫瘍・血液内科
淵田 真一	京都鞍馬口医療センター	血液内科
牟田 毅	独立行政法人 地域医療機能推進機構 九州病院	内科
吉田 功	独立行政法人国立病院機構 四国がんセンター	血液腫瘍内科
吉満 誠	鹿児島大学病院	血液・膠原病内科
青木 智広	名古屋大学大学院医学系研究科 分子総合医学専攻 病態内科学講座	血液・腫瘍内科学
河村 浩二	自治医科大学附属さいたま医療センター	血液科
小松 恒彦	帝京大学ちば総合医療センター	血液内科
塚田 信弘	日本赤十字社医療センター	血液内科
山下 剛史	恵寿金沢病院	内科

2. 承認研究の進捗状況(2014年1月-12月 ※JSHCT2015を含む)

14-1	「本邦における多発性骨髄腫に対する同種造血幹細胞移植の検討」 PI:池田宇次
学会発表:	論文業績:
14-2	「造血幹細胞移植を施行した多発性骨髄腫での予後因子解析」 PI:高松博幸
学会発表:	済(WG研究業績一覧参照)
論文業績:	Hiroyuki Takamatsu, Sumihisa Honda, Toshihiro Miyamoto, Kenji Yokoyama, Shotaro Hagiwara, Toshiro Ito, Naoto Tomita, Shinsuke Iida, Toshihiro Iwasaki, Hisashi Sakamaki, Ritsuro Suzuki, Kazutaka Sunami.

Changing trends in prognostic factors for patients with multiple myeloma after autologous stem cell transplantation during the immunomodulator drug/proteasome inhibitor era. <i>Cancer Science</i> . (in press).	
14-3	「多発性骨髄腫に対する非血縁臍帯血移植の後方視的検討」 PI:河村浩二
学会発表: 済 (WG 研究業績一覧参照) 論文業績: 二次調査を含めた発展研究として WG14-4 を申請し、論文化した。	
14-4	「多発性骨髄腫に対する非血縁臍帯血移植の後方視的検討: 二次調査」 PI:河村浩二
論文業績: Koji Kawamura, Hiroyuki Takamatsu, Takashi Ikeda, Tsunehiko Komatsu, Nobuyuki Aotsuka, Itsuto Amano, Go Yamamoto, Kentaro Watanabe, Yuju Ohno, Kosei Matsue, Yasuji Kouzai, Nobuhiro Tsukada, Ken Ishiyama, Naoyuki Anzai, Koji Kato, Ritsuro Suzuki, Kazutaka Sunami, Yoshinobu Kanda Cord blood transplantation for multiple myeloma: study from the Multiple Myeloma Working Group of the Japan Society for Hematopoietic Cell Transplantation. <i>Biology of Blood and Marrow Transplant</i> . (in press).	
14-5	「多発性骨髄腫に対するタンデム自家移植とタンデム自家・同種移植の比較」 PI:河村浩二
学会発表:	論文業績:

3. 会議開催記録(2014年1月-12月)

日時	場所	会議内容
2014年1月	国立がん研究センター中央病院	14-1, 14-2, 14-3 の進捗状況説明

4. メーリングリストによる意見交換 (メーリングリスト開設から 2014年12月末時点まで) (173)回

5. WG の今後の活動方針・抱負など

<p>14-1 について: 2015 年日本血液学会学術集会に発表予定。</p> <p>14-3, 4 について: 現在 BBMT に投稿中。</p> <p>14-5 について: 2015 年日本血液学会学術集会に発表予定。</p> <p>現在、CNS 浸潤骨髄腫症例、形質細胞白血病症例の検討を予定している。</p>

15: 固形腫瘍

1. WGメンバーリスト

氏名	所属	診療科
責任者 井上 雅美	大阪府立母子保健総合医療センター	血液・腫瘍科
岩崎 史記	神奈川県立こども医療センター	血液・再生医療科
小川 淳	新潟県立がんセンター新潟病院	小児科
小林 良二	札幌北榆病院	小児科
清水 崇史	東海大学医学部付属病院	小児科・細胞移植科
高橋 義行	名古屋大学大学院 医学系研究科	成長発達医学
藤崎 弘之	大阪市立総合医療センター	小児血液腫瘍科
松野 良介	昭和大学藤が丘病院	小児科
松本 公一	国立成育医療研究センター	小児がんセンター 血液腫瘍科
山本 将平	東京大学医科学研究所附属病院	小児細胞移植科
渡邊 健一郎	地方独立行政法人 静岡県立病院機構 静岡県立こども病院	血液腫瘍科

2. 承認研究の進捗状況(2014年1月-12月 ※JSHCT2015を含む)

15-1	「中枢神経腫瘍に対する造血細胞移植の成績」 PI:岩崎史記
学会発表:岩崎史記 他 第36回日本造血細胞移植学会総会(平成26年3月7日-9日)、沖縄コンベンションセンター	
論文業績:	
15-2	「造血幹細胞移植を併用する大量化学療法を施行したユーイング肉腫ファミリー腫瘍の治療成績」 PI:小川淳
学会発表:済(WG研究業績一覧参照)	
論文業績:	
15-3	「小児肝芽腫に対する大量化学療法の有用性の検討」 PI:山本将平
学会発表:済(WG研究業績一覧参照)	
論文業績:	
15-4	「神経芽腫に対する同種臍帯血移植の検討」 PI:高橋義行
学会発表:済(WG研究業績一覧参照)	
論文業績:	
15-6	「網膜芽細胞腫に対する造血幹細胞移植の検討」 PI:小林良二
学会発表:済(WG研究業績一覧参照)	
論文業績:	
15-7	「横紋筋肉腫の造血幹細胞移植症例の検討」 PI:小林良二
学会発表:済(WG研究業績一覧参照)	
論文業績:	
15-8	「ウイルス腫瘍および類縁疾患に対する造血幹細胞移植の検討」 PI:小林良二
学会発表:済(WG研究業績一覧参照)	
論文業績:	

15-9	「移植後再発小児神経芽腫に対する造血幹細胞移植の有効性の検討」 PI: 松本公一
学会発表:	
論文業績:	

3. 会議開催記録(2014年1月-12月)

日時	場所	会議内容

4. メーリングリストによる意見交換 (メーリングリスト開設から 2014年12月末時点まで) (505)回

5. WGの今後の活動方針・抱負など

次期責任者: 高橋義行(名古屋大学大学院医学系研究科成長発達医学) 方針: 学会発表済研究の論文化、若手メンバーのリクルート
